**先端設備等の導入による労働生産性の内訳**

1. **労働生産性**

**【現状（Ａ）】**

　　　　　　　　（営業利益　+　人件費　+　減価償却費）

労働生産性＝

　　　労働者数ｏｒ労働者数×1人当たり年間就業時間

　　（　　　千円　+　　　　千円　+　　　　千円）

　　　　　　＝　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＝　　　　　千円

　　　　人ｏｒ　　人×　　　時間　　　　　　　　（労働生産性）

**【計画終了時の目標（Ｂ）】**

　　　　　　　　（営業利益　+　人件費　+　減価償却費）

労働生産性＝

労働者数ｏｒ労働者数×1人当たり年間就業時間

　（　　　千円　+　　　　千円　+　　　　千円）

　　　　　　＝　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＝　　　　　千円

　　　　人ｏｒ　　人×　　　時間　　　　　　　　（労働生産性）

1. **計画期間**

　　　　年　　月　～　　　　年　　月　（　　　年間）

1. **先端設備導入による労働生産性向上の目標**

現状【Ａ】　　　　　　　　（　　　　　　千円）

計画終了時の目標【Ｂ】　　（　　　　　　千円）

伸び率【（Ｂ－Ａ）／Ａ】　 （　　　　　　　％）

※注意点

・計画期間は3～5年間とし、基準年度比で年平均３％以上向上すること。

・人員削減を目的とした計画については、認定の対象としない。